

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隸浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	苦痛のスクリーニング実施の現状と課題
研究責任者	看護部 花木ひとみ
研究実施体制	聖隸浜松病院 緩和ケアセンター
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年6月
対象者	2024年4月1日～4月30日に当院でがん登録された患者さん
研究の意義・目的	第4期がん対策推進基本計画では、がんと診断されてから終末期にいたるまで、適切な緩和ケアを提供するために「がん患者の身体的な苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛などのスクリーニングを診断時から外来および病棟にて行うこと。また院内で一貫したスクリーニング手法を活用すること」（以下：苦痛のスクリーニング）が、求められています。当院では、2014年からがん患者の苦痛を表現する機会を増やし基本的緩和ケアを提供することを目的に苦痛のスクリーニングを用いた緩和医療体制を整備してきました。苦痛のスクリーニングのタイミングは、診断時、治療開始時、治療変更時、再発時、治療終了時としています。10年経過し、目的に沿った運用となっているのか、現状を調査し今後の課題を見いだすことを目的とします。
研究の方法	診療録から、苦痛のスクリーニング実施状況（年齢、苦痛のスクリーニング実施職場、実施日、タイミング、気持ちのつらさ、専門家への相談希望の有無）、緩和ケア専門家への連絡の有無をデータ抽出します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に 係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隸浜松病院 看護部 (氏名)花木ひとみ TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日